

問9 男女共同参画社会づくり推進のため自ら取り組みたいこと (複数回答可)

	人	【全体】%	【男性】%	【女性】%
① 「男はこうあるべき、女はこうあるべき」という自分の価値観をおしつけない	609	53.0	50.4	55.0
② 男女共同参画は大事だとは思いますが、自ら進んで何かをしたいとは思わない	410	35.7	35.9	35.5
③ 家事の分担について見直したい(家庭の中で話し合いをするなど)	297	25.9	27.6	25.0
④ PTAや町内会活動に、責任者ではない立場で参加する・加勢する	184	16.0	12.8	18.2
⑤ 男女共同参画を進める行政の事業に協力する	147	12.8	16.1	10.9
⑥ 各種の研修会、講習会に参加して学ぶ	102	8.9	8.3	9.4
⑦ 町内会活動などに参加する(役員になったり、さまざまな行事の責任者として携わったりする)	100	8.7	11.2	7.2
⑧ 男女共同参画を進める教育現場の取り組みを、なんらかの形で後押しする	100	8.7	11.0	7.1
⑨ 男女共同参画を進める議員の活動を後押しする	75	6.5	5.8	6.8
⑩ 職場の中で、男女共同参画の推進について議論を深めていきたい	62	5.4	7.6	4.1
⑪ PTA活動に参加する(役員になったり、さまざまな用務の役割分担に応じたりする)	52	4.5	2.5	5.9
⑫ 男女共同参画の運動(集会や陳情活動など)に参加する	34	3.0	3.1	2.9
⑬ その他	20	1.7	2.7	1.2
⑭ 男女共同参画の取り組みは必要ない	19	1.7	2.9	0.9

自ら行ないたい取り組みに、「価値観を押しつけない」「家事分担の見直し」が多くありました。男女共同参画は、いつでもどこでも誰でも実践できる、まちづくり・家庭づくりには欠かせない取り組みです。

問10 男女共同参画の啓発のために実施してほしい講座、講演会 (複数回答可)

	人	【全体】%	【男性】%	【女性】%
① ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)について	345	30.1	30.0	30.5
② 介護について	312	27.2	24.9	28.9
③ わからない	249	21.7	22.6	20.8
④ 子育てについて	232	20.2	19.7	20.5
⑤ 家族や夫婦の間での、男女共同参画についての対話の進め方について	184	16.0	17.5	15.2
⑥ 男女共同参画全般について	163	14.2	16.6	12.6
⑦ 地域や職場においての、男女共同参画についての対話の進め方について	148	12.9	15.0	11.7
⑧ パワー・ハラスメント(上位の地位にある者からのいやがらせ)について	131	11.4	10.8	12.0
⑨ 男女共同参画を進める各種団体の紹介、活動への参加方法について	104	9.1	9.4	8.8
⑩ 性的少数者に関する理解促進や偏見の排除について	92	8.0	7.4	8.1
⑪ 自殺予防について	78	6.8	7.6	6.4
⑫ ドメスティック・バイオレンス(配偶者などからの暴力)について	53	4.6	3.6	5.2
⑬ セクシュアル・ハラスメント(性的いやがらせ)について	44	3.8	5.2	3.0
⑭ 夫婦別姓について	36	3.1	4.0	2.6
⑮ その他	24	2.1	2.0	2.2

男女共同参画関係の聞いてみたい講演内容上位は、ワーク・ライフ・バランス、介護、子育てでした。現代の高齢社会において、市民の皆さんが日常の仕事・生活・子育ての場面で男女共同参画の必要性を感じていることや、介護の問題に高い関心を持っていることが推測されます。

▶今後の市の取り組み

本市には現在、市長が区長・学校・保育園・企業・PTAなど各種団体の代表の皆さんに委員として委嘱している男女共同参画推進懇話会と、市職員で組織する男女共同参画推進委員会があります。

今回、市民の皆さんにご協力いただいた調査結果は、男女共同参画の推進において重要な資料として内容を精査し、令和4年度から始まる第4次の合志市男女共同参画推進行動計画に反映させていきます。

国、県、市では、この男女共同参画の取り組みを重要課題と位置づけています。現代社会で問題になっている多くの課題には、男女共同参画の視点からみれば解決可能な部分もあるようです。

市民の皆さんには、今後も男女共同参画の取り組みにご協力いただきますようお願いいたします。

問5 ドメスティック・バイオレンス(DV)について (複数回答可)

	人	【全体】%	【男性】%	【女性】%
① DVがテレビや新聞などで問題になっていることは知っている	795	69.3	70.9	68.5
② DVについて見聞きしたことはない	229	19.9	24.4	17.1
③ 身近にDVを受けた当事者がいる	136	11.8	7.6	14.8
④ 身近な人から相談を受けたことがある	85	7.4	3.4	10.0
⑤ DVを受けたことがある	75	6.5	1.6	9.8
⑥ DVをふるったことがある	18	1.6	2.7	0.9
⑦ その他	14	1.2	1.8	0.9

問6 職場・地域・学校などでのセクシュアル・ハラスメント(セクハラ)について (複数回答可)

	人	【全体】%	【男性】%	【女性】%
① セクハラがテレビや新聞などで問題になっていることは知っている	808	70.4	72.6	69.3
② セクハラについて見聞きしたことはない	221	19.3	21.7	17.2
③ セクハラを受けたことがある	111	9.7	1.8	14.9
④ 身近にセクハラを受けた当事者がいる	102	8.9	8.5	9.3
⑤ 身近な人から相談を受けたことがある	65	5.7	5.8	5.6
⑥ その他	15	1.3	2.2	0.7
⑦ セクハラをしたことがある	5	0.4	1.1	0.0

問7 職場・地域・学校などでの性的少数者について (複数回答可)

	人	【全体】%	【男性】%	【女性】%
① 性的少数者のことがテレビや新聞などで取り扱われていることは知っている	843	73.4	72.0	74.7
② 性的少数者という言葉を知ったことがある	500	43.6	41.5	45.3
③ 性的少数者について学習したことがある	161	14.0	11.4	15.8
④ 性的少数者について聞いたことはない	141	12.3	15.2	10.3
⑤ 身近に当事者がいる	95	8.3	7.4	8.8
⑥ 身近な人から相談を受けたことがある	23	2.0	0.9	2.7
⑦ その他	10	0.9	0.9	0.9

DVとセクハラについては、すでに市男女共同参画まちづくり条例で禁止をうたっていますが、令和元年度の市への相談事案が36件に達し、問題解決に大きな課題が残されています。また、すでに男女共同参画推進の条例に“性同一性障がい”の人の人権について配慮することをうたっている自治体もあります。今後、市としてもこれらの理由で苦しんでいる人たちの人権に配慮していくことが重要と考えます。

問8 合志市での男女共同参画の推進

	人	【全体】%	【男性】%	【女性】%
① とても推進されていると思う	20	1.7	2.7	1.2
② まあまあ推進されていると思う	213	18.6	17.5	19.0
③ どちらともいえない	186	16.2	16.6	16.2
④ あまり推進されていないと思う	47	4.1	3.1	4.8
⑤ 推進されていないと思う	9	0.8	1.3	0.4
⑥ わからない	526	45.8	46.2	45.9
⑦ 無回答	147	12.8	12.6	12.6
合計	1,148	100	100	100

市では、男女共同参画まちづくり条例の制定・男女共同参画都市宣言・男女共同参画推進行動計画に基づいて、イベントの実施、啓発冊子の発行、広報紙での関係記事の掲載などを行なっています。しかし、約5割の人が「わからない」と回答していますので、より積極的に取り組んでいく必要があります。